

関東・東北豪雨災害

被災10市町・JAによる

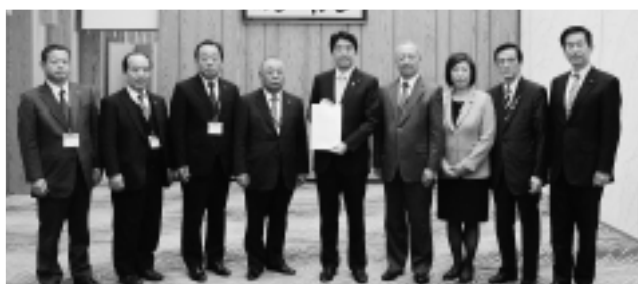
安倍首相への要望活動



▲要望活動を行った首長のみなさん



▲要望活動を行った議長のみなさん



▲要望活動を行ったJAのみなさん



▲安倍首相に要望書を手渡す吉原市長

12月7日、関東・東北豪雨により被災した県西地域の首長、議長、JAのみなさんとともに首相官邸を訪れ、更なる復興支援を求める要望書を安倍晋三首相に手渡しました。要望活動は、関係各大臣（10月30日）、橋本茨城県知事（11月4日）に引き続き行われ

たもので、安倍首相に対し、関係機関による迅速な復旧支援活動にお礼を述べるとともに、依然として多くの住民の日常生活に支障をきたしていることや農業被害が甚大であることから、早期の復旧復興並びに災害を未然に防ぐための支援について要望を行いました。

要望の主な内容

- 災害復旧に対する更なる財政支援について
- 営農・営業再開に向け、被災農業者及び被災商工業者への支援について
- 大雨による大規模災害に備え、堤防の強化について

実現しよう！東京へ直結する鉄道を

地下鉄8号線（東京メトロ有楽町線）の野田市までの早期整備及び野田市から茨城県西南部方面への延伸の位置付け実現に向け、「第29回東京直結鉄道建設・誘致促進大会総決起大会」が11月23日、市民音楽ホールで開催されました。

茨城県西南部までの延伸の早期実現を求める宣言文を読みあげました。

会場には、茨城・千葉・埼玉3県の関係各市町の首長や議会議員、商工会をはじめ、地元選出の国会議員や県議会議員、市民など約500人の東京直結鉄道を待ち望む多くのかたがたが参加しました。式典では、東京理科大学理工学部土木工学科名誉教授の内山久雄先生に「地下鉄8号線の整備実現に向けて」をテーマに講演をいただき、坂東市こども観光大使が横断幕を掲げながら、坂東市商工会青年部の堀和友鉄道誘致委員長が「都市高速鉄道東京8号線の埼玉県東南部を経て千葉県野田市までの建設促進と、



▲大会であいさつする吉原市長



▲こども観光大使による誘致PR